



この QR コードから HP を見る
ことができます。



いよいよ橘小体育祭です！

本年度より、従来「運動会」として行っていた行事がリニューアルされます。名前も代表委員会において、子ども達が「橘小体育祭」と決めました。大きな変更点は以下の 3 点です。

① 縦割り色別対抗の廃止

今年度の学級編成は 1、6 年のみ 3 組、他は 2 組となり、純粋な 3 色対抗は行えません。昨年度までも同様でしたが、3 色対抗とするために、上位と下位の平均点を 3 組がない学級に割り振ることから、結果として 3 組がない色が、比較的優位になってしまっていました。（常に 2 位以上となるため）

また、近年学級編成を行う際、年間を見通した学級経営を行うため、子ども達の友人関係や学力を基に行うことが多く、運動能力まで十分加味して行えないため、学級によって運動の得意な子どもが偏ってしまうことがありました。つまり、どの学級になるか、どの色に所属するかで、当日の個人の頑張りに関係なく、運動会前にすでに勝敗が見えてしまっているという問題点がありました。そのため、個人では頑張れたと感じていても、閉会式時には色別で結果を出され、もやもやした気持ちになる子ども達もいました。

そこで、原点に返り、個人の頑張りを目を向けて、勝っても負けても、その日一日、自分の BEST を尽くすことができるかということに着目して取り組むことにしました。競技そのもので頑張れたか、係の仕事を頑張れたか、友達を応援することを頑張れたか、開・閉会式の態度を頑張れたかなどです。開会式では白色一色の帽子の子ども達が、その日一日自分なりの BEST を尽くすことができたなら、閉会式に赤帽子に変える（自己評価）としています。できるだけたくさん子どもが、BEST を尽くせたという体育祭になればと願っています。

また、対抗戦ではなくなったことで、毎競技ごとに得点を集計する「得点係」の仕事がなくなり、なりました。その分、活動が大変な「用具係」、「決勝係」などの増員を図ることができました。

② 応援団から応援係へ

縦割り対抗ではなくなったことで、色別対抗応援合戦がなくなりました。しかし、体育祭での高学年の晴れ舞台はなんとしても保障したいと考えました。この取組を通して「生きる」子ども達もいれば、「学ぶ」子ども達もいるからです。そこで今年度から、個々で頑張る子どもたちを応援する「係」として独立させることにしました。



③ 体育授業の題材を生かした体育祭種目

ご存じの方も多いと思いますが、実は「運動会」は日本独自の行事です。しかし、そのため、昔から引き継がれている種目も多く、従来は「組体操」や「騎馬戦」、「棒倒し」という独自の種目も多くありました。ところが、この独自の種目は現在の体育のカリキュラムにはありません。そのため、運動会で実施するために、本来学習すべき体育のカリキュラムが縮小されたり、未実施になってしまったり、1 学期の体育の授業時数が大幅に増えて、他の教科の授業時数が圧迫されるという問題がありました。そこで、今年度から、体育の学習で取り組んでいる題材を生かして種目化したり、比較的練習時間がかからないチャンス競技を取り入れたりすることで、通常の体育の題材をしっかり学ぶことを保障することにしました。



本来、学校で行う体育は、「生涯スポーツ」につなげることを意図されて行われます。単に勝ち負けを競うのではなく、運動そのものを楽しみ、生涯を通じてスポーツに親しむ（「するスポーツ」、「見るスポーツ」、「支えるスポーツ」です）ことを目的としています。好きな種目、得意な種目を練習によって高め、同じ条件で競い合う、課外や社会体育で行われている「競技スポーツ」とは異なります。

運動の好きな子ども、苦手な子どももいることが前提ですので、ルールや条件を工夫して、勝敗の未確定性（始まるまで誰が勝つかわからない）を保障することが大切になります。短距離走のみ個人の力そのものを競うことになりますが、リレーなどはバトンゾーンで調整したり、ワープゾーンがあったりして、みんなが同じ距離を走る必要はないことになります。それぞれが自分の役割を精一杯果たすことで、好きか嫌い、得意か苦手に関わらず、運動そのものを楽しさを味わうことが大切なのです。チャンス競技のように、偶然性が勝敗を左右する種目は典型的なものです。

最上位課題は「みんなが楽しくなるために」です。子ども達が運動を楽しむための「橘小体育祭」に御理解・御協力をお願いします。



御協力をお願いします<(_ _)>

橘小学校へ赴任して約 1 ヶ月、元気なあいさつなど、朝から元気をたくさんもらっています。また、様々な日常の出来事などをおもしろおかしく話してくれる子どももいて、微笑ましく感じる場面もたくさんありました。先生方も、子ども達をよりよくするために毎日頑張ってくれています。

その中で学校をよりよくするために、3点ほど保護者の皆さんに御協力いただきたいことがあります。

① 車での送迎について

朝からあいさつ運動に立っていると、車での子どもの送迎が多いことが気になります。朝の 30 分ぐらいのあいさつ運動の時間に限っても、20 台以上の車での送迎が見受けられます。長崎市内の公立小・中学校では原則、校区が 2 km 圏内に定められており、車での送迎を認めていません。理由はご理解いただけたと思いますが、子どもの通学路の交通量が増えてしまうこと、校内への出入りに至っては直接事故につながりやすいことがあげられます。もちろん、体調がすぐれないなど、特別の事情がある場合はその限りではありません。怪我や病気などで毎日の送迎が必要な子どもに対しては、申請をしていただき、許可証を発行しているところです。

ただ先日は、バス停のところで U ターンする車が続き、あきらかにバスの発着や通常走行している車の妨げになり、ドライバーの方から厳しく注意を受けました。

子ども達の安全を確保するためにも、控えていただくようお願いいたします。

② 欠席・遅刻・早退等の連絡について

これも朝からの対応になりますが、今年度より長崎市内の公立小・中学校の欠席等の連絡は原則 tetoru で行うようになりました。これは、朝からの電話連絡が多かったり、連絡なしで登校していない子どもがいたりすると、その対応のために担任等が時間をとられ、1 校時の学習に支障をきたしてしまうためです。8 時までに登校すること、欠席等の連絡は 8 時までに tetoru で行うよう、ご協力をお願いいたします。もちろん、詳細を伝えないといけない場合は電話連絡でかまいません。

③ 感染症予防のために

冬に猛威をふるった新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどは現在小康状態にあるようです。しかし、朝夕はまだまだ肌寒いことも多く、寒暖の差の大きさ、体育祭練習の疲れから体調不良を訴える子どもも多いようです。

本校のように大規模校は、万が一感染者がいた場合、あっという間に広がってしまいます。感染自体を予防することは、コロナ過も現在も大切なことになりは変わりはありません。「手洗い」、「換気」は自分でできる予防ですし、体調が悪い時に人にうつさないようにするための「エチケットマスク」は人にうつさないための大切な心構えだと思います。せきが出るな、ちょっと体調が悪いなというときは、人にうつさない（周囲の人を大切に）するためにマスクをする、せきが出るときはよそを向いて手でふさいで飛沫が飛び散らないようにするなど、周囲の人に優しくできるように、子どもたちにもお話していただきますよう、お願いいたします。

お願いばかりで申し訳ありませんが、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。